

# しずくしい 議会だより

●今号の主な内容

新春のご挨拶...2

12月定例議会のあらまし...2~5

町の考えを問う

一般質問 8議員が登壇...6~13

追跡リポート...14

議員クローズアップ...15

常任委員会の活動報告...16~17

皆さんからのご意見/ふるさとへの便り 30...18~19

●平成20年1月24日発行

発行/栗石町議会

〒020-0595 岩手県岩手郡栗石町刈田5番地1

電話 019-692-2111 ファックス 019-692-2828

ホームページアドレス <http://www.town.shizukuishiiwate.jp/>

編集/議会広報編集特別委員会

No.64



# 12月定例会のあらまし



## 新春のご挨拶

町議会議長 平 子 忠 雄

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、中央と地方の格差が拡大し、地方は大変厳しい財政状況に陥っていると言わざるを得ません。国政においては、地方の財政基盤を確立する政策の実現を期待するものです。

さて、本議会では昨年公職

選挙法に係る不祥事が発生しましたことは、誠に痛恨の極みでありました。議員一同改めて、自戒と自律に努めるとともに、議会への信頼回復に今後とも全力を挙げて取り組んでまいる所存であります。

一方、明るい話題としては、およそ半年間、NHK朝の連続ドラマ「どんど晴れ」に小岩井農場の一本桜が放映されました。本町の自然景観の豊かさを改めて全国に紹介することができ、新たな魅力づくりとなったと確信いたします。

町の財政は厳しい状況が続いていますが、議会は、皆様の代表として町行政を注意深くチェックし、皆様と共に、より良い町づくりをめざして全議員一丸となって取り組む覚悟でございますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が町民の皆様にとって素晴らしい年になることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

# 手数料を200円から300円に

平成19年第7回雫石町議会定例会は12月7日から14日までの8日間の会期で開催されました。

本定例会では、これまで200円の証明書交付手数料が300円に増額となる町手数料条例の改正など条例改正案が5件、一般会計ほか補正予算に係わる案件が7件、町道路線の認定と廃止に係わる案件が2件、一部事務組合の規約変更が1件、そして請願4件、議員発議1件が審議されました。

また、一般質問には8人が登壇し、二日間にわたり17事項について質議が交わされました。

## ■条例改正

- 町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（原案可決）  
雫石町環境審議会委員の新設により改正となります。
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正（原案可決）  
国の例に準じて、若年層の一般職の職員の給料月額並びに扶養手当及び勤勉手当の額の改定です。
- 町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正（原案可決）  
指定管理者を再指定する場合のものです。
- 町手数料条例の一部改正（原案可決）  
手数料200円を300円に改めるものです。
- 町保育所条例の一部改正（原案可決）  
指定管理者の指定の手続きに関するものです。

## 条例改正の主な質疑

**問** 手数料改正は、他町村との均衡を保つためという説明があったが、住民負担がどんどん増えている最中、手数料100円といえども上げるべきではない。むしろ手数料も他の町村より低いというようなやり方でアピールする必要があるのではないか。

**答** 少ない経費、少ない負担で、高い行政サービスをすることが一番理想であると思う。ただ、すでに盛岡市、滝沢村などに対応しており、同じ状況の中でご負担いただくということも理解願いたい。国民健康保険とか大きな負担がかかる分については状況を考えながら抑えてきたけれども、今回は4町村での協議の場でも合わせてやろうという確認があり提案したものである。

**問** 足並みをそろえる、ということも理解もするが、今回、この部分の改定で270万ぐらいの増額と聞いている。それだけ住民の痛みが当然加わる訳で、その場合は行政もそれなりにやはり痛みを共にやるべきであろうと思うがどうか。

**答** 来年度はもっと住民目線に立って、フロアマネジャー等で職員自らが住民へのサービスをするというようなシステムも考えている。より高い質のサービスということについては、十分対応していく考えである。

## ■一般会計補正予算(第5号)(原案可決) ——

○主な内容は、

七ツ森保育所運営委託料	1,316万1千円
雫石駅南口産直イベントスペース新築工事	1,354万1千円
雫石駅南口通路増築工事	1,568万6千円
新しいわて農業担い手支援総合対策事業補助金	△608万6千円
町道除雪業務委託料	1,177万7千円
町道柿木万田渡線改良舗装工事	1,285万7千円
農地・農業用施設災害復旧工事	3,021万円
小規模災害復旧事業補助金	1,750万円
災害応急復旧工事	1億544万8千円
道路橋梁災害復旧工事	6,997万8千円
河川災害復旧工事	1億3,777万3千円

## 補正予算の主な質疑

**問** 災害復旧費の来年度にまたがって執行する分については、繰り越しになるのか。

**答** 11月21日に可決した補正予算と今回の分の件数で47件である。過年債としては29件で来年度の予算で対応したい。

**問** 農業施設災害復旧費は現段階で具体的にどのようなように執行しようとしているか。

**答** 小規模災害は88件で1,750万円程度の災害を受けている。国の査定を受け、その結果に基づいて農地は50%、農業用施設は65%の災害の補助率であるが、農家の負担を出来るだけ軽減するため、現在、補助率のかさ上げの申請をしようと考えている。およそ90%に近い額になると思っている。それに見合った分を小規模災害についても助成したいと考えている。

**問** 災害箇所にも最終的に決まったことを、どう周知するのか。

**答** 既に土地改良区などを通じて、被害を受けた農家の皆さんに周知している。

**問** 公共土木に一般財源の計上が無いということは、町単独で対応する分は無いということか。

**答** 専決処分で手当てし、発注したり、発注準備を進めているところである。

**問** 今後の銀河ステーション(雫石駅)の中身の改造スケジュールは。

**答** ファーストフードとか、産直の販売確保関係の施設、雫石牛をメインに販売を考えていて、20年度の早い時期の完成を見込んでいる。

**問** 銀河ステーションの具体的な改造計画はいつ決まるのか。

**答** 新年度の対応で進めている。まとめ次第事前に説明するが、20年度当初予算特別委員会で議論してもらいたい。概算で1億2千万円程度の見込みだ。



雫石駅南口の産直施設整備計画について現地調査する議員たち

**問** まちづくり交付金170万円の増は何か。

**答** 町道柿木万田渡線の改良舗装工事分である。

**問** ありね山荘に1日何便かのあねっこバスを出してもらえないか。

**答** 基本的にあねっこバスの運行はバス路線の廃止にあり、まずは町内の住民の足の確保という部分で考えていかなければならない。ただ、2次交通の話とか、スクールバスとの組み合わせも、今、順次検討している。

**問** 生ゴミ処理機容器の購入補助金と電動生ゴミ処理機の補助金があるが、今までどれくらいになるか。生ゴミだけの滝沢村への委託処理トン数はいくらか。

**答** コンポストは平成4年度から、1,078件で312万3,015円を補助し、電動生ゴミ処理機は平成13年から81、で156万1,119円の補助をしている。生ゴミだけの処理トン数は調べていないが、ごみ全体の中の17%から20%あたりで年によっても違う状況である。

**問** ゴミ全体の約20%の生ゴミを滝沢村にトン2万8千円で頼むよりも、赤字が出ている当町の堆肥センターで処理できないか。

**答** 指定管理者であるJA新しいわてと、技術的にどうか検討する必要は十分ある。一方で、すばらしい堆肥をつくっているが、農家の利用率が悪い状況である。この分も含めて紹介、宣伝を経て廉価で対応できるとなれば普及も進むかもしれないので十分検討したい。



平成19年度から本町の一般廃棄物を処理している滝沢村清掃センター

**問** 認定農業者等担い手育成事業負担金が200万円以上減額されているが、内容はこういったものか。

**答** 農業農村振興協会に負担し、改善支援センター、さらには品目横断の関係での営農指導センター等の活動費で認定農業者の育成、生産組織の育成強化、集落営農活動等の事業や報酬等に充当するもので、制度内容が変わり全額国庫事業となり各町村からの負担金は不要となったものである。

## 特別会計

### ○下水道事業特別会計補正予算（第2号）（原案可決）

**問** 本当に大変な経済情勢のもとで、普及率が悪いのではないか。現在どういう状況なのか。

**答** 平成18年度末の公共下水道の整備面積は約484ヘクタールで、下水道を使える人口は8,500人で町の下水道が使える割合は44.5%である。19年度末の予定では大体47%ぐらいの普及率になる。未接続の家庭にはハガキ、封書により接続のお願いを重ねている。

### ○農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（原案可決）

**問** 配管設置後、路面段差が出来たときの対応はどうなるか。

**答** 工事の保証期間中、または明らかに業者の施工に瑕疵がある場合は、施工業者が行い、それ以降の段差等については町で舗装復旧する。

### ○介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）（原案可決）

**問** 居宅介護サービス給付が5,600万円と余り極端に比率からすれば多いように思うが理由は何か。

**答** 特定施設入居者生活介護とか、訪問リハビリが前年実績よりも大分増えたことによるものである。

### ○零石診療所特別会計補正予算（第1号）（原案可決）

**問** 内視鏡の債務負担行為1,166万は耐用年数がきてリースの満了によるものか、あるいは新しい医師が見えて診療体制の戦略的な構築の部分で導入するものか。

**答** 耐用年数がきたこと、それから新医師が来たことで更新するものである。

## ■ 請願

12月定例会では請願4件の提出があり、担当する常任委員会に付託して審査し、本会議で次のとおり決定しました。

### ● 請願第6号 「放射能を海に流さないこと」とする法律、放射能海洋放出規制法（仮称）の法律制定を求める請願

提出者＝豊かな三陸の海を守る会長 田村剛一 ほか1団体

#### 請願結果＝採択

請願結果の理由＝放射能汚染から三陸の海、川、山、空、住民の健康、食の安全、そして三陸の農水産業を守ることは、地域住民のみならず、県民、国民の願いであり法律制定を求める意見書を提出することで意見が一致しました。

### ● 請願第7号 町道の改良整備についての請願

提出者＝藤本宗郎さん、石亀勇さん

#### 請願結果＝閉会中の継続審査

請願結果の理由＝生活道路や産業道路としての利用状況並びに関係地権者の合意関係などもさらに精査する必要があることから。

### ● 請願第9号 米価の安定対策を求める請願

提出者＝雫石町農民組合代表 太田 勲

#### 請願結果＝閉会中の継続審査

請願結果の理由＝現在、政府方針が協議中であり、今後の動向をさらに注視する必要があることから。

### ● 請願第10号 2008年4月実施の「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願

提出者＝岩手県社会保障推進協議会長 高橋八郎  
ほか2団体

#### 請願結果＝不採択

請願結果の理由＝先の9月定例会において「後期高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の充実を求める請願」を採択したものであり、現時点において中止・撤回を求めることは、これまでの経緯と相反することから。

## ■ 発議

採択した請願をもとに意見書を議員発議で提案し、可決の上、関係機関に送付しました。意見書の具体的な内容は次のとおりです。

### ◆ 発議第1号 「放射能を海に流さないこと」とする法律、放射能海洋放出規制法（仮称）の法律制定を求める意見書

- 1、放射能廃液を海に放出しない法律、放射能海洋放出規制法（仮称）を制定すること。
- 2、国の国策で再処理工場に対し、放射能除去装置を設置するよう指導すること。
- 3、岩手県沖で実施するモニタリングの結果について公表すること。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、  
経済産業大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、  
農林水産大臣、環境大臣

## 臨時会

11月21日と12月27日に臨時議会が開かれ、補正予算、先決処分承認について審議し、原案どおり可決・承認しました。

11月21日の第6回臨時会では、昨年9月17日に発生した大雨災害に伴う災害復旧費として、1億7,144万円を追加補正する内容などとなっています。

また、12月27日の第8回臨時会では、福祉灯油購入事業についての提案があり、灯油価格の高騰による経済的負担を軽減するため、高齢者や障害者のいる低所得世帯に対し、灯油購入の一部として1世帯一律1万円を助成する内容となっています。



質問者  
上野の三四二議員

## 南昌道路の恒久対策を

### 町長／災害防止、県道昇格に取り組む

**上野議員** 雫石環状線南昌道路は、毎年のように災害や崩落で長期間の通行不能となっている。今度の通行止はいつまでか。安全対策を含む恒久対策をどうしていく考えか。この道路の県道昇格の見通しはどうか。

**町長** 災害が発生する危険箇所を点検、再検証して災害に強い構造、安全対策など矢巾町と連携をして道路管理に努める。県道昇格は両町と連携して取り組む。可能性は強いと思っている。

**地域整備課長** 今の時点で工事復旧は、20年7月頃までかかると考えている。

#### 米価下落の影響度と対策は

**上野議員** 米価下落が進行しており米農家は厳しい経営となっている。本町の低落影響度をどうとらえているか、品目横断作物の比較ではどうか。

新たな農家支援の取り組みと対策について伺う。

**町長** 本年産米は、あきたこまち、ひとめぼれとも前年比7～10%安い。60kgで約1,050円安値、町全体の売渡量子で1億2,337万5千円の減収となる。

本町としては、有機栽培とか循環型農業、食育の町民運動のような特徴ある取り組みでロット販売、地産地消でも評価の高まるように米作を補完として特産振興など進めたい。

#### 歴史民俗資料館の改善整備を

**上野議員** 文化遺産の保存や継承は現存町民の使命でもあり、歴史民俗資料館の改善や博物館構想も含め施設の整備検討すべきと考える。また調査研究などにあたる学術研究員や専門指導員の配置など適性な運営であるか。

**教育長** 保管資料の多さに対して展示スペースが狭く、旧剣道場も一時保管している状況である。博物館構想という枠組みの中で資料館整備も視野に取り組んでいきたい。調査研究の人材と育成は博物館構想の中で検討していく。



雫石環状線の被害箇所を視察する議員たち

一般質問



質問者／  
おおむらしょうとう  
大村昭東 議員

## 諸課題の条件整備をどう進めるか

### 町長／快適な生活環境の実現に努力

**大村議員** 人口減少・少子高齢化時代の福祉、医療、人づくり、土地利用計画、産業振興、通信回線整備、団塊の世代対策、職員の意識改革等の諸課題に対処する条件整備をどう進めているか。

**町長** 今後も引き続き、定住促進対策指針を作成するなど、快適な生活環境の実現にむけた条件整備に努める。

**大村議員** 総合計画で言っているまちづくり基本条例制定の検討は。

**経営推進課長** 現在具体的な取り組みは進めていない。

**大村議員** 農振計画の見直しとあわせて、少子高齢化時代の土地利用をどのように検討しているか。

**経営推進課長** 農振計画に対しては持っていない。

**大村議員** 再生のいで湯鶯宿温泉の挑戦と題して新聞報道があったが、鶯宿、南畑地域を移住促進地域として考えても良いのではないか。

**町長** 今後検討委員会で対応していきたい。

**大村議員** 職員の地域社会の担い手としての市民的能力、公共サービスを支える専門能力の向上にどう取り組んでいるか。

**町長** 庁内研修、外部研修、人事考課、人事交流などを行っている。

**大村議員** 農業・農村の向上、どこに活路を見出し農家が奮起するような夢、希望創出を考えているか。

**町長** 町農林業基本計画を踏まえ、計画を見直しながら各施策を実施し、諸問題に対応したい。

**大村議員** 農林担当課の農業政策グループはどのような政策を考えているか。

**農林課長** 農林業基本計画の実現にむけてとにかく頑張りたい。

**大村議員** 農林業基本計画推進の基本理論は何か。

**町長** 「農による新たなまちづくりへの挑戦」を柱に、農業を中心にまちおこしを進めたい。

**大村議員** 提言しますが、三分割理論と、健土・健食・健民礼肥理論で町農業の構造を変え、農家の夢と希望を創出してはどうか。

今の困難な農業状況を乗り切るためには荒治療が必要であり、戦前の農業会のような組織、団体の設置を考えてはどうか。財源は農業活性化基金、青年・女性・農家の研修基金を合体すれば可能でないか。人的体制は、町内外にいるわけですし、「100億円プラン」を強力に実践している「遠野産業活性化本部」がよい事例である。

# 今後の市町村合併の見解は



質問者  
田中栄一 議員  
たなかえいいち

## 町長／住民意識調査の実施を検討

**田中議員** 昨今、新聞等で合併に関する事がニュースになっているせい、町民の方から雫石町は合併が必要か合併する必要はないと思うか、とよく聞かれる。平成の大合併で岩手県では、59市町村が35市町村にまで減少しており、国は財政支出削減などのため、さらに、自治体の統合を推し進めていくのではないと思う。

特に今回の「合併新法」では、都道府県知事に対して、かなり強い権限を付与しており、町の将来において合併問題は、重要な課題である。町長の見解を伺いたい。

**町長** 県知事から県合併推進審議会に対し合併市町村の合併効果検証検討と合併協議会設置勧告のあり方について諮問がなされ、本町にも9月26日に審議会委員2名による聴き取り調査が実施された。私は合併については住民の意向が一番であると考えており、審議会委員にもその意を伝えてある。なお、各種団体の会議や町政懇談会など住民と接する機会が多数ある中で、合併すべきとの声を聞くことは、全く無いことから、住民の意思として合併というものは無いものと感じている。

今後、合併する・しないということではなく、合併を含めた広域圏のあり方について、住民意識調査を行うことも検討したい。

### 火災警報器設置に補助金を

**田中議員** 平成16年、消防法の改正により各住宅に「火災警報器の設置」が義務付けられた。本町では12月10日現在設置届けが出されているのは37軒である。

火災警報器設置促進のため、補助金制度を設ける考えはないか。

**町長** 町としては、町民の皆さんの防火安全意識を高め火災警報器の設置を促進していかなければならないものと考えている。現在、一般家庭住宅に対する補助の制度化の計画はない。



住宅への火災警報器設置を呼びかける盛岡消防署雫石分署

一般質問



質問者／  
いしがめ 石亀 議員  
みつぎ

## 妊婦健診の公費負担拡充を

### 町長／平成20年度から年6回に

**石亀議員** 出産に欠かせない妊婦健診を、一度も受診しないまま出産に臨む例が増えていると言われているが、妊婦が健診を受ける際の公費負担を、現在の2回から拡充する考えはないか。

**町長** 妊婦の健康管理と安心して出産できる体制づくりに努め、妊婦健康診査の必要性を指導し、平成20年度から経済的負担も軽減できるよう公費負担を年6回に増やし、実施していく考えである。

#### 地方財政健全化の取り組みについて

**石亀議員** 平成19年6月、地方公共団体の財政健全化に関する法律が成立し、再建制度の抜本の見直しは50年振りといわれている。全ての団体について、4つの財政指標である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を算定し、財政状況を公表していくと

しているが、同法をどのように受け止め、どう対応していく考えか。

**町長** 地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐことを目的にしたもので、従来の自治体再建法制の課題として、4つの側面が挙げられる。

- ①財政情報の開示が不十分であった
- ②財政再建団体の基準のみで、危険段階における早期是正基準がなかった
- ③普通会計収支の指標のみで、負債などの財政課題は対象でなかった
- ④公営企業に早期是正機能がなかった

このことから、財政健全化法は普通会計以外の特別会計や企業会計も対象に、新たな財政状況の判断指標が規定されており、平成19年度決算に基づく各指標の公表が義務づけられ、各指標を整備し、監査委員の審査に付したうえで議会に報告、公表する予定である。



11月10日町と郡医師会で開催した町民健康講座



質問者  
猿子恵久  
さるこしげひさ  
議員

## 米価下落に伴い園芸振興の強化を

### 町長／複合型農業の一層の強化を図る

**猿子議員** 品目横断的経営安定対策がスタートした中において、本町の参加状況と集落営農組織の立ち上げ状況は、どのようになっているか。

**町長** 加入状況は、認定農業者では、161名、加入面積778.6haとなっており、法人が6社で面積84.9haとなっており品目別の加入面積では、米が655.6ha、麦87.7ha、大豆35.3haで集落営農組織は、10組織が加入し面積で544.7haとなっており、認定農業者と集落営農組織合わせて171経営体で加入面積1323.4haという結果である。

**猿子議員** 米価の急激な下落に伴い、本町にとって複合経営の推進と園芸振興の早急な強化が必要と考えるが町の考えは。

**町長** 米価の下落を農林水産省は異常事態として米緊急対策を講じるとしているが、その効果を期待するもので昨今の米を取り巻く情勢では、即安定した価格水準になるとは考えにくく、本町の複合型農業の一層の強化を図っていく必要があると考える。

#### 広域連携の考えは

**猿子議員** 広域の勉強会が盛岡市から申し入れされているが、課題を協議する広域連携組織のあり方についてどのように考えているか。

**町長** 事務検討会議における今後の検討内容や方向性を見据えながら、本町として、盛岡広域の市町村との連携のあり方や必要性について、その枠組みなども含め、検討していく。

#### 教育振興どのように充実するか

**猿子議員** 18年度本町の学習定着度状況調査をどのように評価し、今後学校教育や家庭教育、地域教育をどのように充実していく考えか。

**教育長** 学年、教科ごとに正答率が向上し改善された点もあれば、逆に正答率が低下した学年、教科もあり、指導上新たな課題も出てきており、調査で明らかになった問題点を教育施策に反映させ、引き続き児童生徒の学力の基礎基本の確実な定着を図るため、さらにきめ細かな指導が必要であると評価している。

一般質問

質問者／  
やちよしかず  
谷地善和 議員



## 患者数に見合う医師と看護師を

### 町長／常勤医師2名と看護師15名で

**谷地議員** 全国的には有床診療所がここ20年で半減したと聞いているが、本町では有床診療所の町民ニーズがあり、整備する方向で検討されている。

しかし、患者が減少傾向にある中で、運営上人件費の占める割合が高いことを考えれば、いくら公立の診療所とはいえ赤字体質から少しでも脱却するためにも、外来と入院に見合った適切な医師数と看護師数がおのずとあるはずである。

この点についてどう考えているか。

**町長** 雫石病院の年間入院患者数並びに外来患者数は年々減少傾向にあり、平成18年度では年間の入院患者数が9,997人で、病床利用率は49.8%、外来患者数は23,458人で平成17年度に対し1,191人減少した。

さらには、医業収益に占める人件費の割合が66.9%となるなど収支状況が厳しいことから、平成19年度において、診療所は最大19床持てるということで、19床の有床診療所に切り替え運営してきた。

医師や看護師等の人数については、有床診療所の場合、夜間、休日の医師や看護職員の配置基準は定められていないが、看護職員の勤務体制基準から宿直勤務が週1回までとされていることや、平成18年度の診療報酬改定により看護師需要の増加に伴い、臨時看護師の確保が困難な状況のなか、雫石診療所は循環器や消火器内科を中心とした診療を行い、来年度からは特定検診等を雫石診療所が中心となって実施することにより、町民の健康維持や検診収入の増加が見込めると思う。

このことから、平成20年度以降の人員体制は常勤医師2名、看護職員15名および検査技師等の職員3名を配置し、安全、安心な医療を提供したいと考えている。



患者さんの身になった看護を心掛ける雫石診療所の職員



質問者  
伊藤 哲夫 議員

## 木材加工工場・ボーリング調査の理由は

### 町長／協議を条件として自家用井戸に

**伊藤議員** 町誘致木材加工工場の町有地に、業者がボーリング調査を実施したと聞いているが何のための調査だったのか。また、事業者が事前協議もなく、9月10日から試掘調査に着手し、10月に書類提出をした事実について伺いたい。

**町長** 事業者によると町との土地賃貸借契約において試掘調査にかかる個別条項がないため、事前協議をせずに調査を始めたとのこと。契約書の中にある「契約に定めがない事項については必要に応じ双方協議する」という条項に該当すると判断し、事業者に対し行為の事前に協議をするよう嚴重注意し、改めて協議書の提出を求めた。町では事業者からの協議を受け、地下水調査結果について遅延なく町に報告すること、自家用井戸として別途工作物を設置する場合は事前に協議することを条件に承認した。

#### 米価対策について

**伊藤議員** 米価の下落は、大規模稲作農家や集落営農に深刻な影響を及ぼしている。米価の今年度の概算金は60キロ当たり1万1,650円と発表されたが、収穫期の9月に引き下げが提示され、1万450円となり大型営農者に打撃となった。これに伴い、農家所得が低下し、大型化を進めても営農はますます低迷することとなる。一層の米価対策が求められるが対策を伺いたい。

**町長** 政府では34万トンの備蓄米の買い入れなどの緊急対策を講じたところで、その効果に期待したい。また、これを契機に地産地消に関して支援を行うとともに、現在実施されている学校給食への供給等もあわせて消費拡大に努めていく。

販売流通部門を担うJA新しいわてによる各年産米の販売については、米の取り扱い業者や消費者との密接な信頼関係を維持し、安定的に取引が行われるよう、今後も支援していきたい。



名古屋を訪れ稔石産米をPRする町関係者

一般質問

質問者／  
かとうますみ  
加藤眞純 議員



## どっちを向いている(誘致企業に係る)町の対応

### 町長／誠意ある対応を継続

**加藤議員** 誘致木材加工工場は、期待する町民もいればいまも不安を募らせている町民もいる。何が不安なのか今一度明確にし、住民に説明すべきでは。

**町長** 平成18年10月3日に住民説明会を1回開催した。現時点では考えてない。不安を感じている方々から多くの質問、要望、提案があった。それらに誠意ある対応を継続する。

**加藤議員** 周辺住民は「1.関連工場がなし崩し的に建てられていき、2.そしていずれはLVL工場になるのでは、3.煙突からもくもくと煙が出され、景観が壊され、風評被害が発生、4.これらにより動植物の命が奪われるばかりか、人間への健康被害となるのでは」と心配している。

**町長** 事業が最大展開しても、ホルムアルデヒドを含まない集成材加工場と聞いている。

**加藤議員** LVL工場にはならないということで理解した。

#### 環境保全等用地へ工場誘致を進めるのか

**加藤議員** 開発行為のあとに希少植物の群生などが発見されたように公表されているが、事前に十分な調査が求められていた。自然保護団体から国宝級とまで指摘されるここ一帯は、後世の零石の子供たちに残すべき貴重な自然遺産である。今後も、このような環境保全等用地への

工場誘致を進めていくのか。

**町長** 遅くとも平成20年度中には土地利用計画を策定する考えである。その間、さらなる企業誘致を進める方針は無い。計画の中で現在の自然形状を大きく変更するゾーニングなどが盛り込まれた場合でも、既存の環境保全には十分配慮していく。

#### 事後承認した井戸の「試掘」について

**加藤議員** 試掘に係る住民監査請求は、住民通報による現地確認の翌日に協議書、翌々日には承認されたという理由で却下された。しかし、副町長が試掘を知らなかったり、住民の質問に対する回答文面と合わない点がある。

**町長** 文書は過去形で経緯を示したと理解している。

**加藤議員** 自家水用として使う場合は事前協議という承認のようだが、町水道の収入見込みは立てていたか。

**総務課長** 早く操業開始をするため、自家水だと一定水量がないと県の許可が出ないので、開発許可を取る際、上水道で計画したと聞いている。

水道料については、工場までの設備はすべて企業側が経費負担している。井戸として使う場合は別途水量等を協議となっており、今は使うことを町としては了承しない。

# あの質問は…その後どうなった

町議会で行われた一般質問の中から2項目を選び、その提言が町政にどう反映されているのかを調査しました。



樹木の剪定作業に取り組む会員たち

## 質問

矢櫃、九十九沢、外柵沢地域の営農飲雑用水施設など、生活環境整備をどのように進めるか。

(平成18年6月議会)

処理状況

## 質問

現在本町の高齢者の就労の場として、「生き生き就労センター」があるが、これを充実させるため、新たに「シルバー人材センター」を設立して活動すべきではないか。

(平成18年6月議会)

処理状況

## その後

この地域の生活環境を整備するため、既に外柵沢、三笹、清水沢集落の一部、および九十九沢集落の一部を含め受益戸数24戸を対象に鶯宿簡易水道の第5次拡張事業として、平成19年7月事業認可と同時に工事着手、平成23年度完成見込み、全長で7,120mの工事。

矢櫃地区は給水区域外となっており、引き続き検討することになっている。

(平成19年7月工事着手～23年完成予定)

## その後

平成19年3月1日に発足して、現在の登録者は男49名、女21名の70名となっております。主な活動業務は草とり、草刈り、樹木管理、その他ボランティア連絡協議会の業務の一部委託など、活動の範囲も広め活発化している。



昨年整備が完了した三笹地区の消火栓

# クローズアップ

改選後の新議員をシリーズで紹介しします。議席番号の大きい18番と小さい3番の2名の議員が議員活動の抱負を語ります。

## 福祉の町づくりに全力

伊藤 哲夫 議員  
(72歳・自営業・無所属)



孫の来訪に夫婦で微笑むひとコマ

昨年は激動の年でした。本町では大雨災害をはじめ米価の下落、原油価格の高騰などによる生活苦の相談が多くありました。介護保険制度・後期高齢者医療制度導入など、住民負担が増し貧困格差が一層広がる状況にあります。皆さまの声を生活優先の立場で町政に反映してまいります。

### ●プロフィール

1935年4月2日生まれ。1945年、日上市助川国民学校より雫石小学校へ転入。盛岡第一高校雫石分校中退後、日製協力工場（多賀荷造）へ勤務。退職後自営業を営む。1976年4月雫石町議会議員初当選以来、現在8期の28年目。

## 子どもに夢を 大人に安心を

川口 一男 議員  
(64歳・農業・無所属)



後援会に町政報告を行う川口議員（右）

格差のない社会づくりを理念とし、町民のため住民目線に立ち、町民の町政を初心として今後も尽力する覚悟です。子ども達に「雫石に生まれてよかった」と思われる町づくりを実現するため、与えられた責務に全力で投球していきます。

### ●プロフィール

平成19年4月に初当選。安庭小学校、御所中学校、盛岡第一高等学校雫石分校を卒業後、団体職員5年間、自営10年間の後、山崎建設に入社し25年間建設業務に携わる。町議会では総務常任委員会に所属のほか議会広報編集特別委員を務める。安庭行政区在住。趣味はゴルフ、スキー、スポーツ観戦。

調査実施日／  
平成19年11月28日  
調査項目／

町営春木場住宅建設現場などの現地調査

## 総務・産業建設 合同

総務、産業建設の2常任委員会は、11月28日に、次の建設現場等の合同現地調査を行いました。

(1) 町営春木場住宅建設現場

(木造2階建て住宅6棟を建設するもの。1棟156.50㎡で、2世帯が入居でき、全部で12世帯が入居できるようになる。平成20年3月完成予定)

(2) 鶯宿地区建物解体工事現場

(鶯宿地区内にある廃墟ビル(元いのうえ24)を解体するもの。解体後の跡地は水辺公園に整備される予定)

(3) 雫石銀河ステーション

(地産地消の推進拠点とするため、構内を改修したり、周辺に新たな施設を設置し、農林産物直売所として整備しようとするもの)

それぞれの現地に立ち寄り、進捗率や整備計画について状況を確認しました。



春木場住宅建設現場を調査する委員

調査実施日／  
平成19年10月13日、12月10日  
調査項目／先進地調査、所管事務調査

## 総務

総務常任委員会(大村昭東委員長)は、10月13日創意工夫に満ちた地域づくりと、個性的な暮らしづくりの構想など、議会としても、自らが情報発信するなど町の活性化を図るため、議員一人ひとりが多くの知識と情報を得ることを目的とし、「紫波町のまちづくり」、「堆肥センターの経営状況」、また「遠野市まちづくり」、「アグリステーションの経営状況」について、先進地調査を行いました。

紫波町では総合計画の中で「協業のまちづくり」が示され、「循環型のまちづくり」や、「健康で元気はつらつの町づくり」など理想の町づくりを地域社会全体で実現していこうという機運がおり、町では協業支援室を設置し、町民を主体とした「紫波町協業を考える会議」が組織されていました。主な活動内容としては次のとおりです。

- 行政活動への参加……………「市民参加条例」
- NPO等公益活動育成支援…「ゆいっとサロン」
- 町民主体の地域づくり…………「地区創造会議」

一方、遠野市では、遠野農業活性化本部(ASTアスト)について研修しました。

遠野市の農業生産額は、平成2年度の102億円から平成14年度には66億円まで減少。地域活性化のためにも関係機関が一体となって取り組みを展開する組織を、市、農協、県農業改良普及センター三者で発足。100億達成アクションプランを策定し実施していました。

「堆肥センター」と「アグリステーション」の経営状況については、各市町とも黒字とはいかないが、赤字を少なくするための工夫に一生懸命であるよう見受けられました。

また、12月10日には、町担当課の説明を受けながら、所管事務調査を行いました。

調査実施日／  
平成19年12月10日  
調査項目／所管事務調査、請願審査

## 教育民生

教育民生常任委員会（横欠君夫委員長）は、12月10日、所管事務調査と請願審査を行いました。委員会の概要は次のとおりです。

### 所管事務調査

- 1) 雫石診療所計画その後の経過について
  - ・ 5回シミュレーション実施するも赤字改善見られず
  - ・ 医師住宅2棟を含み建物建設、20年度中に着工予定
- 2) 学校不登校の問題について  
県平均の出現率を若干上回る；今後さらなる対策充実を図る

### 請願審査

2008年4月実施の「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願を不採択。理由；すでに9月に議会として「同制度の充実を求める意見書」を提出しているため。

調査実施日／  
平成19年11月28日、12月10日  
調査項目／所管事務調査、請願審査

## 産業建設

産業建設常任委員会（坊屋鋪俊一委員長）は、11月28日に、合同現地調査終了後に、農林産物産直施設の整備計画について、所管事務調査を行い、農林課長から説明を受けるとともに意見交換を行いました。

12月10日には、当委員会に付託された2件の請願（①町道の改良整備についての請願、②米の価格安定を求める請願）を審査しましたが、いずれもさらに検討を要するとの意見が出され、慎重に審議するべきとして継続審査としました。

また、閉会中の継続調査は、(1) しずくいシアグリリサイクルセンターについて、(2) 産業振興について (3) 特産品の開発についての3項目としました。

## 農協理事が合併について委員に説明

●調査実施日／平成19年12月7日 ●調査項目／新岩手農協理事から「農協合併計画について」

県内の農業組織再編と改革を進める「JA新しいわて」の中川憲雄理事ほか3人の理事（本町選出理事）と当議会常任委員会合同の懇談を行いました。

この会は、現在、県内の農協が6農協に再編して、新しい経営計画のもとに新体制を構築していくことについて、農業振興の立場で相互理解を深めるために開催されました。

今までの単位農協の経営実態や上部機関などの指導、今回の6農協構想で新岩手農協を存続組合として「いわてくじ」、「北いわて」、「いわて奥中山」、「岩手宮古」の岩手北部地区4JAを吸収合併し、合併の期日を平成20年5月1日にす

る計画ということでした。

中川理事によれば、組合員の信頼と営農指導、組合員サービスを図るには既組織の繰越欠損金解消は必至で、自己資本比率8%以上にするとともに、適正な利益確保による健全経営体に再編することになるが、こうした農協では欠損処理のための組合員負担、県域、全国域の財務支援による協同扶助の実現を図るという内容でした。

議員（委員）の中には、支所存続や地域農業の課題、行政との連携などの、発言もありましたが、この会は議論の場でないため、情報交換にとどめました。



# 議会の傍聴から見たもの 皆さんの声を聞きました



ふかや まさみつ  
深谷 政光さん  
(64歳・林崎行政区)

## 論戦と 地域発信を

12月議会を拝聴した。各議員が諸課題を質疑した中、猿子議員から農業経営の窮状が町の喫緊の課題であるとし、特に米価格の問題は農家の死活問題と捉え、経営形態の見直しを含めた提案と質問がなされた。担い手問題も緊急の課題で、町独自の政策論議が急がれ、まさに時機を得て同感であった。議会は、政策論戦が使命であり、農政の具体的政策目標の組み立てが急務である。精度の高い実態検証と将来展望の熱い議論が待たれる。

過日、当町西根で無農薬黒千石大豆で天然醸造みそが完成と新聞に載った。希望を感じる。同大豆の高倉納豆が美味で拘り食している。秋田の友人が減農薬米と添加物不使用みそを作っている。食べる癒し商品として販売企画に熱心で、47CLUB（全国地方新聞社加盟ネットショップサイト）に出品できたとのこと。

雫石に特産品は結構あるが、なかなか目立たない。今度町内でどぶろくも販売される。懸命に地域発信と競争力の構築に町一丸で臨むことを期待したい。



にいさと さちこ  
新里 幸子さん  
(54歳・上春木場行政区)

## 初めて 議会を傍聴して

婦人会御明神班では、毎年議会傍聴をし社会勉強しております。関心を持ちながらも、参加できず残念に思っております。

私が議会の様子等を知る手段は、「議会だより」を読むことです。今回、定例議会を初めて傍聴することができました。凜とした議場で、緊張感の中、整然と進められる質疑応答を傍聴することは、「議会だより」の活字を目で追うのとは、また違った感動がありました。迫真力があります。

一票を投じた議員の皆さんの活躍を見守り、応援することも私達の責務と考えます。議員の皆さんの活躍を、直接肌で感じられる議会傍聴に、ひとりでも多くの方が参加できる環境を考慮いただければ幸いです。



さくらこうじ つぐお  
櫻小路 嗣男さん  
(67歳・セツ森・丸谷地行政区)

## エネルギーに 関する政策論議を

議会を傍聴したり、本誌を読んで率直に感じることは、農業に関する論議が多いことと、一般質問する議員が毎議会同じような方々であるということでもあります。

当町の基幹産業は農業ですので、それに関わる課題は重要であることは分かりますが、その他の分野の課題についてもバランスよく論議をしてもらいたいものです。

私は、かつて当町の地熱熱水利用開発に携わったこともあって、エネルギー問題に注目しておりますが最近、特に、地球温暖化問題の高まりや原油高もあって、再生可能エネルギー（太陽光・風力・水力・生物（バイオマス））の重要性が指摘されております。

当町においても、豊かな資源を活用する観点から、代替エネルギー（環境にやさしいエネルギー）として、これら再生可能エネルギーの活用について、もっと取り組んでもらいたいものだと思っておりますし、議員の皆様には、こうした分野の政策論議をリードしていただくことを望みます。



よこて みきお  
 在京雫石町友会会員 横手 幹雄さん

ふるさとの元氣は…わたくしの元氣

十数年も前から毎年暮れになると、実家近くに住んでいる兄や姉から雫石米でついた餅やりんごなどが送られ、私たち5人家族は元気をもらっています。近所のお世話になっている方々や、結婚している子どもたちの家族にもお裾分けをし、大変喜ばれ故郷の自慢に花が咲くことも度々です。

私の生家は下久保にありました。就職のため故郷を出たのは昭和40年3月上旬、残雪がある晴天の日でした。道すがら見える山並み、お世話になった方々の家並みを見ながら雫石駅に向かったことがまるで昨日のようです。かの地の土、水、光、風で育んだ18年間のDNAは消えることなく、還暦を迎えますますます懐かしい思いが深まる今日このごろです。

雫石中学校のころは野球少年で甲子園の夢もありましたが、盛岡商業高校ではサッカー部に入部しました。母校の後輩たちが昨年の全国高校サッカー選手権大会で優勝し、その名を全国に轟かせてくれましたが、実は昭和38年私たちが出場したのが始まりで、以降15回目の出場にして金字塔を打ち立ててくれたわけです。翌年の昭和39年に出場した新潟国体ではベスト8に進出。初戦で決勝点を挙げ、多少母校の歴史に名を刻んでおります。ちなみにそのとき一緒にプレーしたのが現盛岡商業の斉藤重信監督でした。

その後、三菱銀行に入行後もサッカーを続け、現三菱東京UFJ銀行畔柳信雄頭

取や、当時有名なJリーガーの一人であったりトバルスキー氏（元ジェフ市原）など、多くの友人、知人を得ました。

あえてサッカーに関わる縁を述べたのは、高校卒業を控え就職活動をする矢先に、学校側から三菱銀行よりサッカー部員を推薦してほしい由があり、面接した縁が今日あります自身のほとんどかと思われるからであります。

上京した昭和40年代といえば、高度成長期で、振り返れば大変活気があり、その中で青春を過ごしたことは幸せであったと思います。金融機関で勤務すること35年間。平成12年3月にハッピータイヤし、千葉県八千代市に落ち着きました。

現在社長をしている日本建工(株)（東京都品川区）は、創業72年の歴史があり、最近では新丸ビル、六本木ヒルズ、東京ドーム球場等の内装工事をさせていただき、おかげさまでこの業界では5指に入るとされております。

これからも在京の私たちが、周りに自慢できるふるさと「しずくいし」であり、鮭が生まれ故郷の川に戻るがごとく、故郷を離れた私たちが戻りたくなくなるような「しずくいし」であり続けてほしいと願っています。



第41回全国高校サッカー選手権大会出場  
 (後列右側の旗手が筆者)

横手幹雄さんプロフィール

昭和21年生まれ。雫石小・中学校を卒業し、昭和37年4月盛岡商業高校入学、同40年3月卒業し、三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)に入行。浦安・八幡(千葉県市川市)支店長歴任後に日本建工(株)入社、現在代表取締役社長。

趣味：つり(ヘラブナ)・スポーツ(サッカー・ゴルフ)・絵画鑑賞(洋画印象派・近代日本画)

子どもたちから町議会はどんな仕事をしたり、どんな仕組みになっているのか質問が寄せられることがあります。そこで子どもたちに分かるようにシリーズで解説しています。ご家族で一緒にご覧ください。

## 議会の情報公開について

町議会では、定例会や臨時会で議決した内容や審議の経過などを広くご紹介するため、各種の情報公開に努めています。具体的には、議員が自ら編集し発行する「議会だより」の配布を年4回、定例会ごとに全世帯に配布するとともに町ホームページでもご覧いただけます。また、定例会や臨時会の詳細な会議録は、町立図書館で閲覧することができます。この会議録は、3月までにはホームページで公開するよう、ただ今準備を進めています。さらに、議会の開催日程や会議結果についてもホームページ議会コーナーで紹介しています。

このほか、毎月の議長交際費についても更新していますのでご覧ください。

## 議会の話題を紹介します

### ■史料展を開催中

町議会では、町民の皆様身近な議会を目指し、議会への関心をさらに深めていただくため、町役場3階ロビー内において、初の議会史料展を開催しています。

展示内容は、昭和30年合併当時の議会の様子をパネルで説明しているほか、これまでの議会の移りかわりを写真や書類原本などで分かりやすくご紹介しています。町役場にお越しの際は、お気軽にご覧ください。3月まで展示します。



初めての開催となる町議会史料展

●今号の表紙/前々号から本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズで紹介しています。「笑顔が絶えないまち」を目指して取り組んでいる皆さんから。今回は西山保育所に通う元気な園児たちの笑顔です。

## 議会の主な動き 10～1月

- 10月
- 22日 宮城県川崎村議会視察来庁
  - 23日 三重県志摩市議会視察来庁
  - 25日 福島県相馬地方町村議会議長会視察来庁
  - 26日 北海道七飯町議会視察来庁
  - 30日 九戸村議会視察来庁
  - 31日 県議長会委員長研修会
- 11月
- 2日 町総合芸術祭開幕式
  - 3日 第23回町内継走大会開会式
  - 6～7日 八幡平山系直轄砂防同盟会第2回要望会
  - 8日 沖縄県北谷町議会視察来庁
  - 13日 総務常任委員会、山形県遊佐町議会視察来庁
  - 15日 政務調査会、町勢功労者表彰式
  - 16日 紫波雫石線奥産道同盟会総会・現地踏査
  - 21日 第6回議会臨時会
  - 22日 学校保健関係者講演会
  - 27日 議会運営委員会
  - 28日 総務、産業建設常任委員会現地調査
  - 29～30日 県議長会研修会(東京)
  - 30日 第51回町村議会議長全国大会
- 12月
- 1日 町PTA連絡協議会実践活動研修会
  - 2日 町歳末助け合いチャリティーショー
  - 7日 第7回議会定例会開会
  - 10日 総務、教育民生、産業建設各常任委員会
  - 11～12日 本会議(一般質問)
  - 13日 本会議、議会運営委員会
  - 14日 本会議、政務調査会、広報編集特別委員会
  - 17～18日 米消費地研修視察(名古屋市)
  - 21日 西根小文部科学大臣表彰祝賀会
  - 27日 第8回議会臨時会
- 1月
- 4日 町新年交賀会
  - 6日 交通指導隊初点検式、消防出初式
  - 14日 成人式
  - 15日 政務調査会、雫石町政務調査会・滝沢村政務調査会合同研修会

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】  
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

#### 【議長交際費内訳(10月～12月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
10	0件 -	0件 -
11	0件 -	2件 1万1千円
12	0件 -	2件 1万1千円
小計(10月～12月)	-	2万2千円
年間総計(1月～12月)	-	23万9千円

### 編集デスク

子の年 新年の夫婦アクションの思いのなか初春早朝鞍掛(くらかけ)山へ雪道登山を家内と試みました。「あの山は簡単、優しいコースだよ」と聞きながらも冬の山登り経験ゼロの二人にとっては不安一杯、希望チョッピリ。長年連れ添った妻の顔には、口には出さぬが私より大変なのがハッキリとわかりつつ、雪道に足元を取られ汗をかきながら一步一步、時には振りかえり、待ちながら、鞍掛山の頂を極め、雲の切れ間に見る岩鷲山を目の前にし新年の拝願をするなか、社会とは、人生とは、けっして楽なことばかりではない厳しい現状を打開するには辛抱強く、我慢をし、汗をかき、努力し、時期を待つ気構えを持たねばならない大切なことがある思いを改めて感じたところであります。気の向くまま 合掌(編集委員 村田厚生)